学校番号	1101

令和八年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高校生の地理総合」　（帝国書院）						
副教材等	「高校生の地理総合ノート」　（帝国書院） 「コンパクト地理総合地図」　（二宮書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地図帳を毎授業持参し、わからない地名、国名が出たら地図で調べて、マーカーなどで
チェックをつけよう。
・地理は様々な視点から、地域の特徴をとらえていく方法を学んでいく科目です。身の回りの様々な出来事と授業で学習した内容を結び付けていくことが、この科目の理解につながっていきます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
地理にかかわる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解し、地図や地理情報システムなどを用いて情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能をみにつける。
【思考力、判断力、表現力等】
地理に関わる事象の意味や意義を学び、それぞれの事象を多面的・多角的に考察したり、地理的課題の解決に向けて構想、考察し議論できる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して日本国民としての自覚、我が国の国土に関する愛情、世界の多様な生活文化を尊重することの大切さをについての自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・世界の生活分野の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みを理解している。 ・地図や地理情報システムなどを用いて調査し資料を活用して様々な情報を適切にまとめあげることができる。	・地図や地理情報システム、統計資料などを活用し、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域など地理的な見方考え方から現代世界の様々な課題について考察し、その内容 を表現することができる。	・地理に関わる諸事象に関する地球規模の課題や身近な課題について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題の解決にむけて主体的に追究、解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	1部1章地図と地理情報システム	・地球上の位置と時差 ・地図の役割と種類	a: 地図から情報を読み取る技術、地理情報システムの活用の仕方を身につけるとともに、方位や時差などの基礎的・基本的な知識、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきなどについて理解する。 b: 地図や地理情報システムの用途や活用法に加えて、現代世界の地域構成について、位置や囲などに着目して主題を設定し、世界的視野から見た日本の地理的特徴や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 c: 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養う。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート 協議・発表	提出課題 ノート 振り返りシート等
	1部2章結びつきを深める現代社会	・現代世界の国家と領域 日本の領土・領域について ・グローバル化する世界				

後期	2部1章 生活文化の多様性と国際理解	・世界の地形と人々の生活 ・世界の気候と人々の生活 ・世界の産業と人々の生活 ・世界の宗教・民族・言語と地理的課題	a:人々の生活文化と地理的環境の関連性とその多様性について理解し、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性、持続可能な社会の実現を目指す各国の取り組みや国際協調のありかたを学ぶ。 b:世界の人々の生活文化について、自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、多様性や変容の要因などを授業や調べ学習など通して多面的・多角的に考察し、表現する。 c:現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養う。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート 協議・発表	提出課題 ノート 振り返りシート等
	2部2章 地理的課題と国際協力	・歴史的背景と生活 ・移民の歴史と人の関わり ・植民地支配の歴史と人々の生活の関わり ・国家体制の変化と人々の生活の関わり ・世界の産業と生活 ・産業力が世界の生活文化に与える影響 ・経済成長による人々の生活の変化 ・地域統合が人々の生活や産業に与える影響				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度